

荒木山西塚古墳見学会 参加者募集！

同志社大学文化遺跡情報科学調査センター（津村 宏臣 准教授）は、真庭市と共同で、荒木山西塚古墳の発掘作業を行っています。

今回、同志社大学の校友を対象に『古墳見学会』を開催いたします。

開催日：2024年1月14日（日）

目的地：荒木山西塚古墳（見学会） 真庭市

ほたる庵（昼食） 真庭市

スケジュール

9：00 岡山駅西口 集合 貸切バスにて現地へ出発！

10：30 「荒木山西塚古墳」にて見学会

12：30 「ほたる庵」にて昼食

14：00 「ほたる庵」を出発

15：30 岡山駅西口 到着 解散

対象者：校友とご家族

参加費：お一人様 2,000円

定員：45名

申込方法：下記メールアドレスに、お名前、卒業年次、参加人数、電話番号のご入力をお願いします。

info@okayama.doshisha-alumni.org

電話でのお申込み、問合せ先

[090-1357-1562](tel:090-1357-1562)（中崎）

締め切り：12月20日（水）



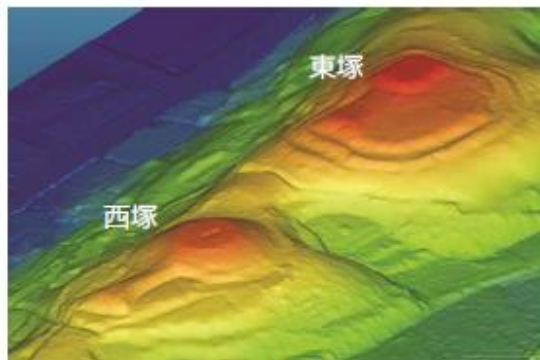
荒木山西塚古墳発掘調査プロジェクトとは

真庭市上水田にある前方後円墳「荒木山西塚古墳」を発掘調査する活動です。この発掘調査の最大の特徴は、真庭市や市教育委員会、地元で古墳を守る活動を続けている「北房文化遺産保存会」、同志社大学などが共同事業体「西の明日香村コンソーシアム」を結成し、民・学・官が連携しプロジェクトに取り組んでいることです。

発掘調査は、県内に呼びかけて集まった一般参加者の方や考古学を学ぶ他県の大学院生なども加わって、全員で協力して進めています。そして、この活動は、荒木山西塚古墳の謎を解明するだけでなく、北房地域内外の様々な方々の交流を深めたり、地域に眠っている歴史・文化遺産の保存や活用の担い手づくりに繋がる仕組みを、プロジェクトを通じて築くことも目指しています。



北房地域の古墳分布と西塚古墳の位置



荒木山西塚古墳(左)と東塚古墳(右)
<南方方向から>

荒木山西塚古墳について

古代北房は交通の要衝として重要な地位を占めており、国史跡「大谷・定古墳群」をはじめ貴重な古墳が数多く存在します。

そのうち、荒木山西塚古墳は上水田地区の丘陵に築かれた全長約63m、高さ約6mの前方後円墳で、真庭市の史跡に指定されています。後円部中央付近には竪穴式石室がありますが、すでに乱掘を受けています。

同一丘陵の東隣りには荒木山東塚古墳（前方後方墳）が築かれており、前方後円墳・前方後方墳が隣接して存在する珍しいケースです。

西塚古墳は、市内で最古級の古墳とみなされる東塚古墳に次いで築かれたと考えられていますが、年代的な細かい位置づけは意見が分かれます。

いずれにせよ市内の古墳では、川東車塚（落合・県指定）や荒木山東塚とともに真庭市を代表する古墳時代前期（3世紀半ば～4世紀）の古墳であり、県北西部でも三番目の大きさに当たる古墳です。